

鈴鹿サッカークラブジュニアユース体験練習会の御案内

2027年度 新中学1年生（現小学6年生）を対象とした練習会を7月より開催致します。

中学3年間でサッカーを通し、技術の向上だけでなく、学業とも向き合え、人として大きく成長できるように心掛けています。

また、トレーニングの時間設定につきましては、早めのトレーニングにより、帰宅後に自分の時間帯を設けれることで、私生活の面において、時間的なゆとりをとってもらうことを考慮しています。

サッカーの本質（原理原則）の徹底、追及を図り、個のスキルを高めるべくトレーニングを行っています。

当クラブの育成プログラムは以下のことに取り組み、『NEXT』に繋がります。

1、個の技術の習得

ボールを止める、運ぶ、蹴るの基本スキルの向上と追求

S A Q【スピード、アジリティ（敏捷性）、クイックネス（俊敏性）】の身体的要素と認知的要素の向上

1、個の戦術の習得

【観る・観続ける・観ておく】の習慣性

【観る】ことから始まる考える力、感じる力の養成

コミュニケーション能力の向上（声での伝達・意思表示）

ポジショニングや間合い（距離感）からの駆け引き等の状況判断のスピードの向上と追求

1、グループ戦術、チーム戦術の習得

局面での攻防の戦術

個にフォーカスし、トレーニングをしていますので、是非体感してみてください。

【募集要項】

- ・ 当クラブの主旨に賛同できる選手
- ・ 更なる飛躍を目指せる選手
- ・ 現所属チームの指導者の方からの承諾を得た選手
- ・ 募集定員：16名（GK2名含む）

【対象】

現小学6年生

【料金】

無料

【体験練習会・開催場所・開催時間】

- ・ 当クラブの通常活動日に参加してください。（当クラブのスケジュールを参照願います。）
- ・ **申し込みに関しましては、当クラブHPのお問い合わせフォーム、もしくは直接、担当者：真弓までお願い致します。**
ご質問・ご要望欄に、『JY体験』と明記していただき、氏名、所属チーム、ポジション、参加希望日を明記して下さい。
ご都合が合わない場合は、他の曜日の時でも構いませんので、申し付けください。
体験練習会には何回でも参加可能です。
- ・ また、所属チームへの支障がない場合、土、日曜日の当クラブの活動への参加も可能ですので、その場合は予めご連絡願います。

【クラブ説明会】（決まり次第ホームページへ記載致します。）

- ・ 日時：2026年8月からのトレーニング後、随時行います。
- ・ 会場：メインスタンド下会議室
（都合の合わない場合は、別途相談に応じますので、ご連絡ください。）

【クラブ入団説明会】（決まり次第ホームページへ記載致します。）

- ・ 日時：2026年10月中旬 会場：スポーツの杜 鈴鹿 メインスタンド下会議室
（都合の合わない場合は、別途相談に応じますので、ご連絡ください。）
- ・ チームウェアの採寸、申し込みをします。
- ・ 2026年12月から可能な限り、チームトレーニングに参加してもらいます。

【持ち物】

- ・ サッカーの出来る服装・シューズ・レガース・飲み物・着替え
- ・ ボールは当クラブのを使用しますので準備しなくて結構です。

【トレーニング内容】

- ・ 現クラブ生と一緒にトレーニングに参加してもらいます。

※ トレーニング時、万が一怪我をした場合は応急処置を致しますが、その後の対応は各ご家庭でお願いします。

その他で、御希望、御要望がございましたら、担当の真弓までご連絡ください。

鈴鹿サッカークラブジュニアユースU15

担当：真弓 昌宏 携帯：090-2938-9882

<http://www.suzukasc-u15.com/>

選手、保護者の皆様方へ

2020年度新中学1年生の募集に際して、少なからずご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当クラブでは下記のようなワードに基づき、活動をしています。

『出会い』・『夢・目標』・『想い』・『挑戦』・『心（気持ち）』・『経験』・『努力』・『勝負・競争』・『時間』・『変化』

まずは、当クラブの代表・総監督である真弓のサッカーとの出会いからの指導者に至るまでの経緯をお話させていただきます。

小学4年生の時に、サッカーを始めました。決して上手い選手ではなく、トレセン（選抜）に選ばれることもないサッカー少年でしたが、中学での恩師との出会いが、私を変えてくれたと言っても過言ではありません。

サッカーに対して、考えること・感じることの重要性を学べたことで、自分を理解し、立ち位置を理解することで、何かを変えるという行動に移すことの大切さを経験できたと思います。

その経験が、夢や目標を持てるようになり、本気でサッカーに打ち込めたと思います。

当時は努力をしているとも感じず、とにかく上手になりたい、強くなりたい、勝ちたいと欲張れるように変わったと思います。この時の経験は私の強みでもあります。

サッカーというスポーツに出会い、多くの人と出会え、多くの経験ができ、人として成長できたと感じます。

今までの経験してきたこと、学んできたことをより多くの子供たちに伝えること、表現することが私の役割であり、サッカーへの恩返しだとの想いで、チームを立ち上げました。

主に、選手育成として伝えさせていただいていることは？

中学年代は、子供から大人へと成長していく過程で、多感的な部分が表現される時期とし、人としての行動を日常から考えてもらいます。

個人へのアプローチ（選手の心に問いかけ）

- ・できるからやる・できないからやらないでなく、やればできるようになる・やらなければ変わらないと意識を持つ
- ・勝負に対して一喜一憂しない。（理由を理解する、考える）
- ・メンタルが変われば、行動が変わる。化けるためには、何かを変える実行力。
- ・失敗を恐れず、学び、挑戦し継続することの大切さと難しさ。
- ・時間との向き合い方（作り方、使い方）【無駄な時間はありません。時間を有効に使えるようになる】

サッカーは団体競技ではありますが、個人競技と表現しています。サッカーの原理原則において、

『ゴール』を目的としたとき、ボールを奪い合うことから始まります。ボールを失なわない・奪われないために何が必要なのか？（オフ・ザ・ボールの重要性）

その他、人として、サッカー人として伝えさせていただいています。

新しいことに挑戦するときに大切なことは、今の自分を考えて行動するのではなく、

新たな『気持ち』でやる気があるかないかではないでしょうか？

可能性とはを、一度、体感してみてください。

鈴鹿サッカークラブジュニアユース
代表・総監督 真弓 昌宏